

JR 東労組青年部「2023 沖縄平和研修」

Part④

本部青年部情報誌「POINT」の44号に引き続き、5月13日～15日に開催された、「JR東労組青年部2023沖縄平和研修」についての情報になります。沖縄の地で学んだことを紹介していきます。

⑧ 荒崎海岸

荒崎海岸は、ひめゆり学徒隊が自決した場所です。海岸には「ひめゆり学徒散華の跡」の碑が設置されています。海や陸からの米軍による攻撃で、逃げ場を失った住民や学徒隊は最後に選んだのは自決という道でした。3名が米軍の銃撃により8名が手榴弾により自決しています。



⑨ 嘉数高台公園

沖縄戦で激戦地だった場所であり、平和を願う地球儀をイメージした360度の展望台があります。展望台からは普天間基地が見え、基地と住宅街との距離がよくわかります。ここには日本軍が使用した「トーチカ(攻撃の拠点・陣地のこと)」も残されています。



⑩ 道の駅かでな

隣接する嘉手納基地が見ることができます。3階の展示室では、ヘッドフォンを使い、トラック、旅客機、戦闘機が立てる騒音を聞き比べることもでき、戦闘機の騒音がどれほど凄いものか体験することができます。施設には騒音測定器が取り付けられています。



⑪ 嘉手納基地

全長3689メートル、2本の滑走路が据えられています。基地内には駐機場、エンジン調整場、消音装置、シェルターなどの軍事基地があり、住宅、学校、図書館、劇場、ゴルフ場、野球場、スーパーマーケットなどの施設があります。1945年9月7日、降伏調印式が行われた場所です。また森林地帯には、約27平方キロメートル(東京ドーム577個分)の弾薬庫が存在します。